

電子入札補助アプリ インストール手順書

2023年11月

第1.4版

一般財団法人 日本建設情報総合センター (JACIC)
一般財団法人 港湾空港総合技術センター (SCOPE)

目次

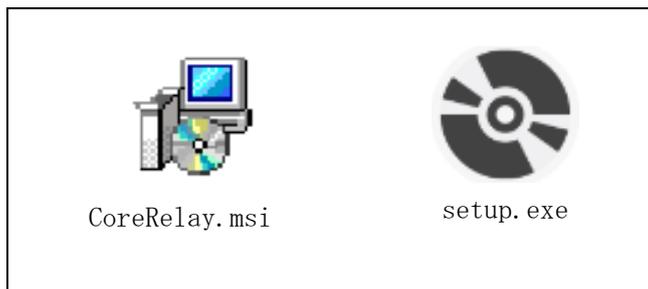
1. はじめに.....	1
2. 自己解凍書庫ファイルの内容物.....	1
3. システム要件.....	1
3.1. ハードウェア要件.....	1
3.2. ソフトウェア要件.....	1
3.3. 注意事項.....	1
4. インストール.....	2
4.1. 電子入札補助アプリのインストール.....	2
4.2. 電子入札補助アプリの起動方法.....	8
4.3. 電子入札補助アプリのバージョン確認方法.....	11
4.4. 電子入札補助アプリの終了方法.....	12
5. アンインストール.....	13
5.1. 電子入札補助アプリのアンインストール.....	13
6. バージョンアップ.....	17
6.1. 電子入札補助アプリのバージョンアップ.....	17
付録 1. F A Q.....	25
(1) 電子入札補助アプリを終了させずにアンインストールを実行してしまった場合.....	25
(2) 起動時に「次の証明書をルートストアから削除しますか？」が表示された場合.....	26
(3) 「ポート 9980 の通信に失敗しました。」が表示された場合.....	28
付録 2. ソフトウェア動作環境について.....	29
付録 3. サイレントインストールについて.....	30
改版履歴.....	31

1. はじめに

本書は、電子入札補助アプリのインストール手順を示すものです。

2. 自己解凍書庫ファイルの内容物

自己解凍書庫ファイルを実行すると、電子入札補助アプリのインストーラ（msi ファイルと exe ファイル）が展開されます。



3. システム要件

電子入札補助アプリをインストールして実行するための要件は以下の通りです。

3.1. ハードウェア要件

電子入札コアシステムを利用するクライアントPCのハードウェア要件に準拠したPCが必要です。

3.2. ソフトウェア要件

電子入札コアシステムを利用するクライアントPCのソフトウェア要件に準拠したPCが必要です。

3.3. 注意事項

- (1) 電子入札補助アプリは、JACIC / SCOPE が提供している電子入札コアシステムを利用して構築された電子入札システムで利用可能です。
- (2) 電子入札補助アプリは、.NET Framework を利用しています。
- (3) 電子入札補助アプリは、.NET Framework 4.6.2 以降のバージョンで実行可能です。
マイクロソフト社のサポート終了が見込まれるバージョンをお使いの場合には、システム部門等にご相談いただき、サポート中のバージョンへの更新をご検討ください。
- (4) インストールするPCのUAC（ユーザーアカウント制御）は「有効」としてください。

4. インストール

4.1. 電子入札補助アプリのインストール

以下の手順に従い、電子入札補助アプリのインストールを行ってください。

【注意事項】 Administrator 権限のあるユーザでログインし、インストールしてください。
※Administrator 権限が無い場合、インストール途中のユーザーアカウント制御のダイアログで Administrator 権限のあるユーザの情報を入力する必要があります。

電子入札補助アプリの新しいバージョンをインストールする場合は、「6. バージョンアップ」を参照してください。

- (1) 起動しているソフトウェアを可能な限り終了してください。
(終了方法はそれぞれのソフトウェアのマニュアルを参照してください。)
- (2) インターネットに接続されていないPCで、.NET Framework 4.6.2 以降 (※) がインストールされていないことが予め分かっている場合は、別途Microsoft .NET Framework を入手して手動インストールしてください。

【注意】 Microsoft .NET Framework のインストーラには、インターネット接続環境が必要な「web インストーラ」と、オフラインでもインストール可能な「オフライン インストーラ」があります。
「オフライン インストーラ」を入手して手動インストールする場合は、さらに**言語パック (Language パック) のインストーラ**も入手してインストールしてください。

(※) 電子入札補助アプリは、.NET Framework 4.6.2 以降のバージョンで実行可能です。マイクロソフト社のサポート終了が見込まれるバージョンをお使いの場合には、システム部門等にご相談いただき、サポート中のバージョンへの更新をご検討ください。

- (3) 電子入札補助アプリのインストーラ  **setup.exe** をダブルクリックしてください。



■ .NET Framework 4.6.2 以降 (※) がインストールされていない場合

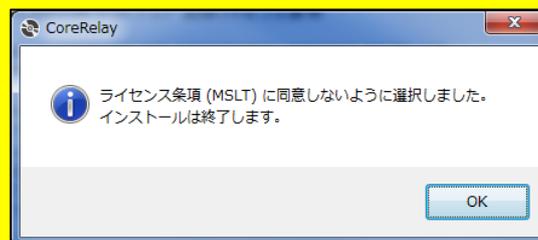
Microsoft .NET Framework のインストールが開始されます。

- (1) 「同意する (A)」をクリックします。



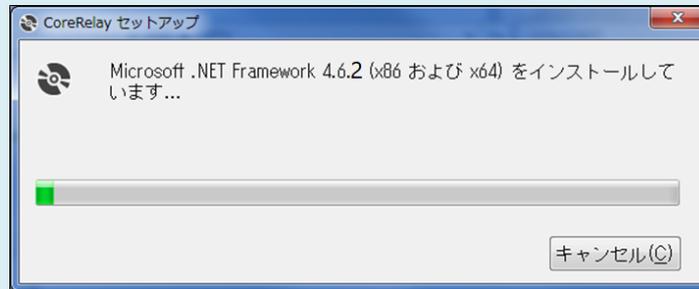
- (※) マイクロソフト社のサポートが終了した .NET Framework は使用できません。マイクロソフト社のサポート終了が見込まれるバージョンが自動インストールされた場合は、システム部門等にご相談いただき、サポート中のバージョンへの更新をご検討ください。

ここで「同意しない (D)」をクリックした場合は、以下のダイアログが表示されインストールが終了しますので、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じたあと、再度  **setup.exe** を実行してください。

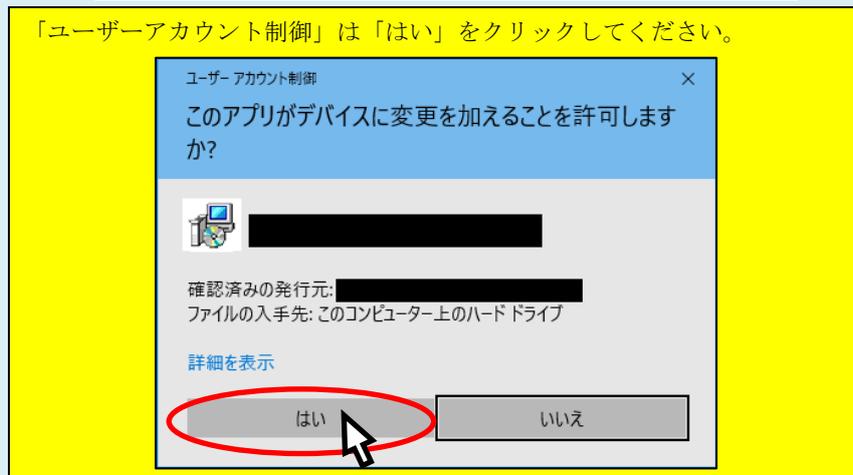


■インターネットに接続しているPCの場合

(2) Microsoft .NET Framework がインストールされるまで、しばらくお待ちください。

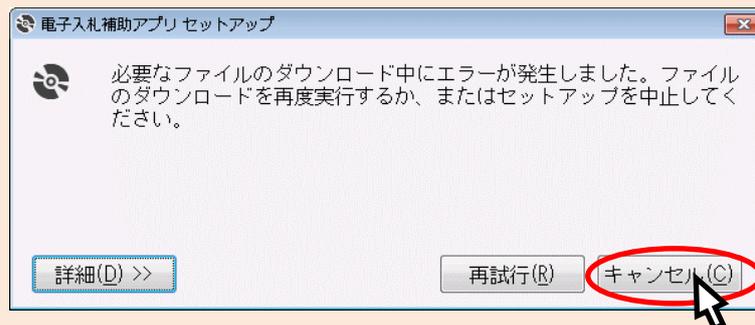


「ユーザーアカウント制御」は「はい」をクリックしてください。



■インターネットに接続していないPCの場合

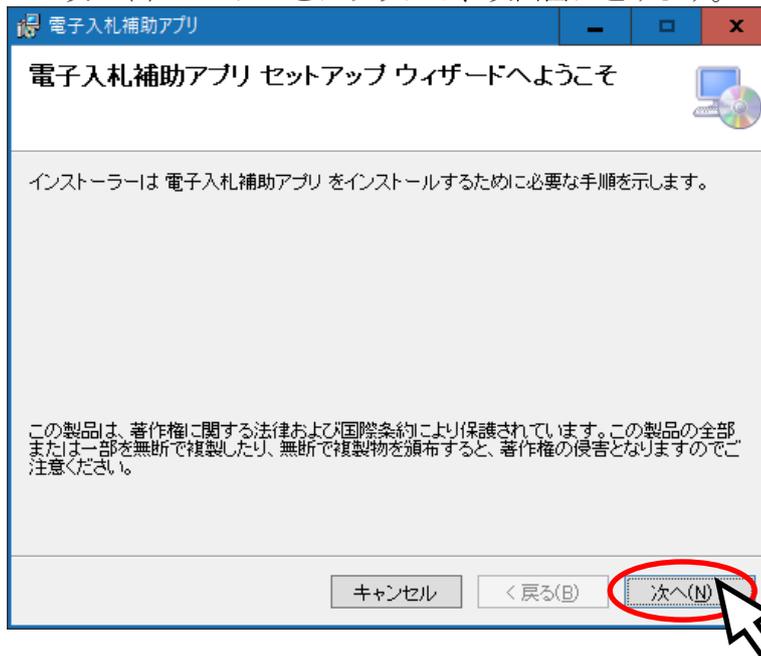
(3) 以下のエラーダイアログが表示されますので、キャンセルし、別途 Microsoft .NET Framework を入手して手動インストールしてください。



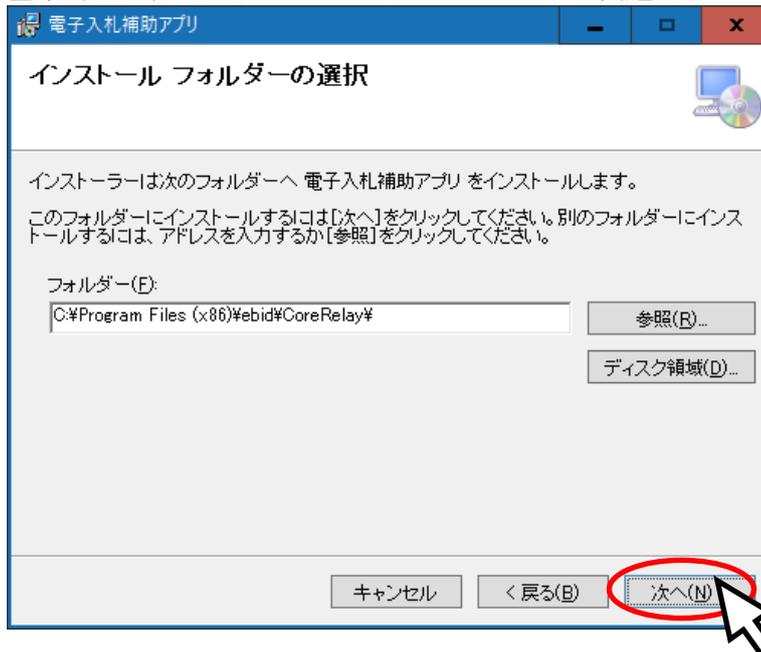
【注意】 Microsoft .NET Framework のインストーラには、インターネット接続環境が必要な「web インストーラ」と、オフラインでもインストール可能な「オフライン インストーラ」があります。

「オフライン インストーラ」を入手して手動インストールする場合は、さらに言語パック (Language パック) のインストーラも入手してインストールしてください。

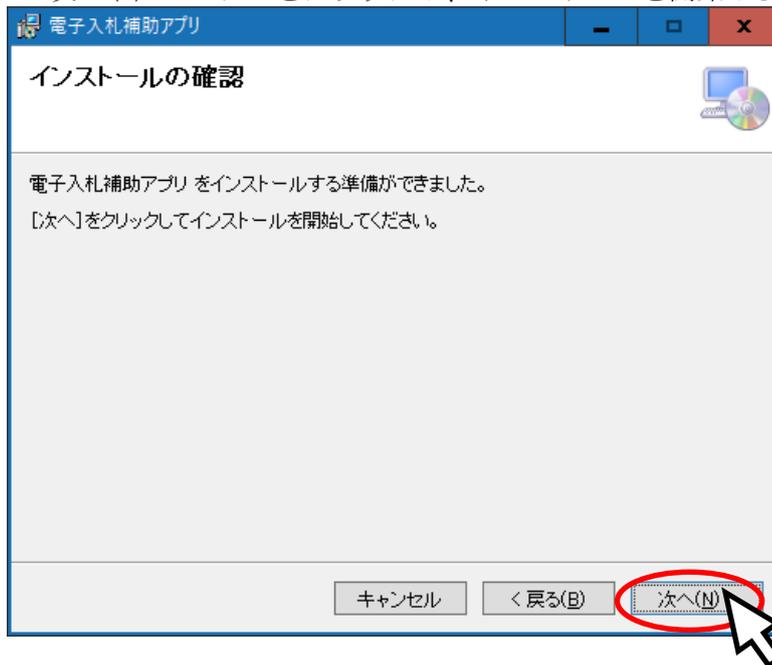
- (4) “次へ(N)” ボタンをクリックし、次画面に進みます。



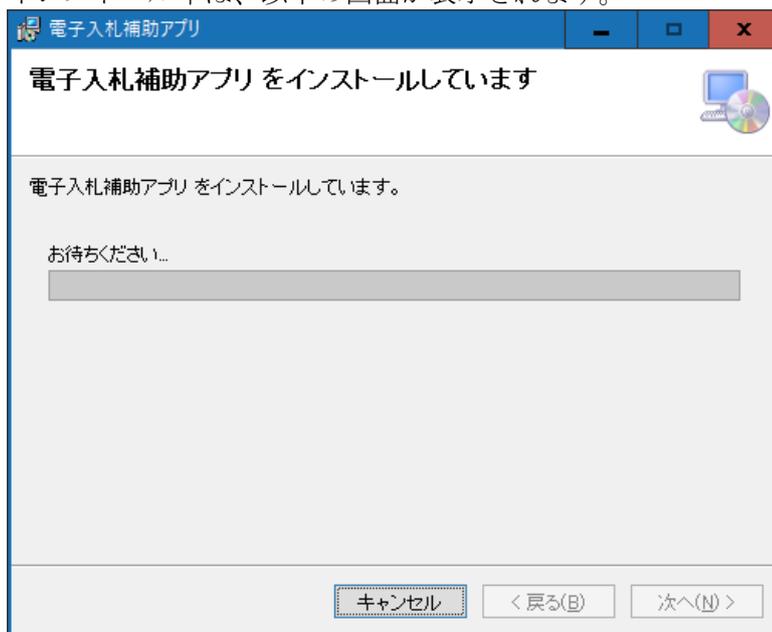
- (5) 電子入札補助アプリをインストールするフォルダーを指定します。基本的には表示されているフォルダーのまま問題ありません。



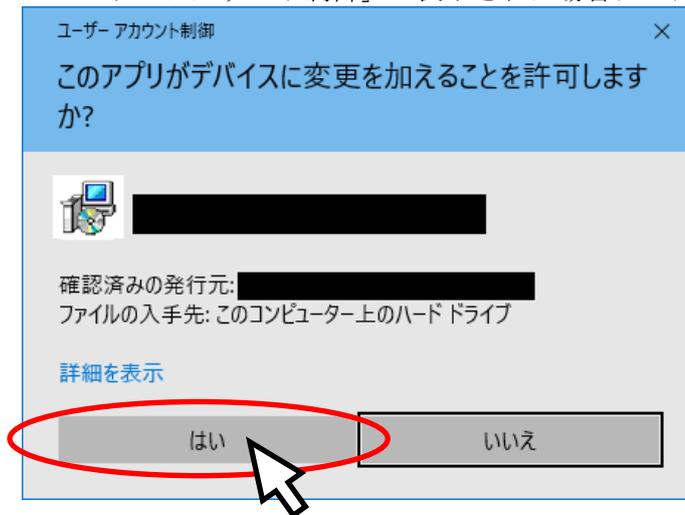
- (6) “次へ(N)” ボタンをクリックし、インストールを開始します。



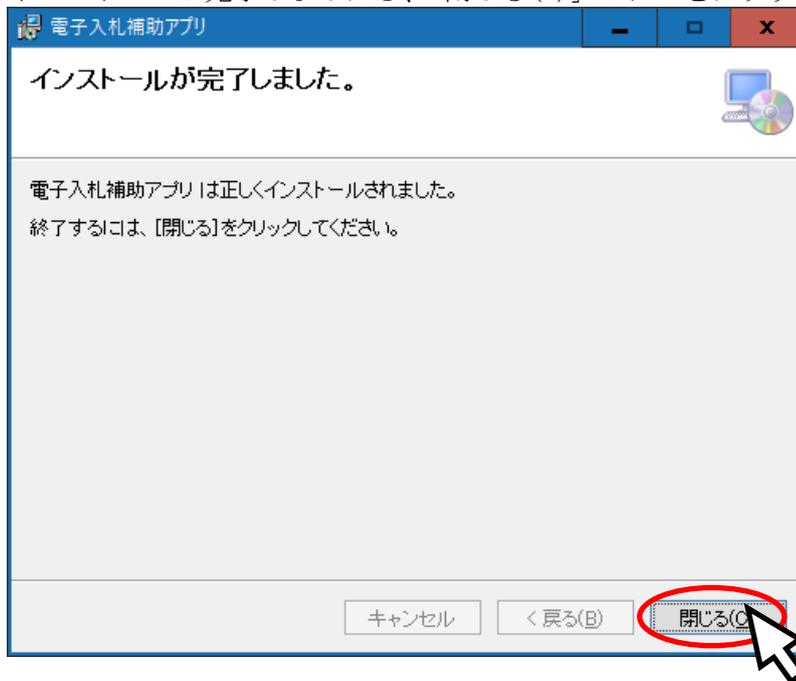
- (7) インストール中は、以下の画面が表示されます。



- (8) 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は「はい」をクリックしてください。



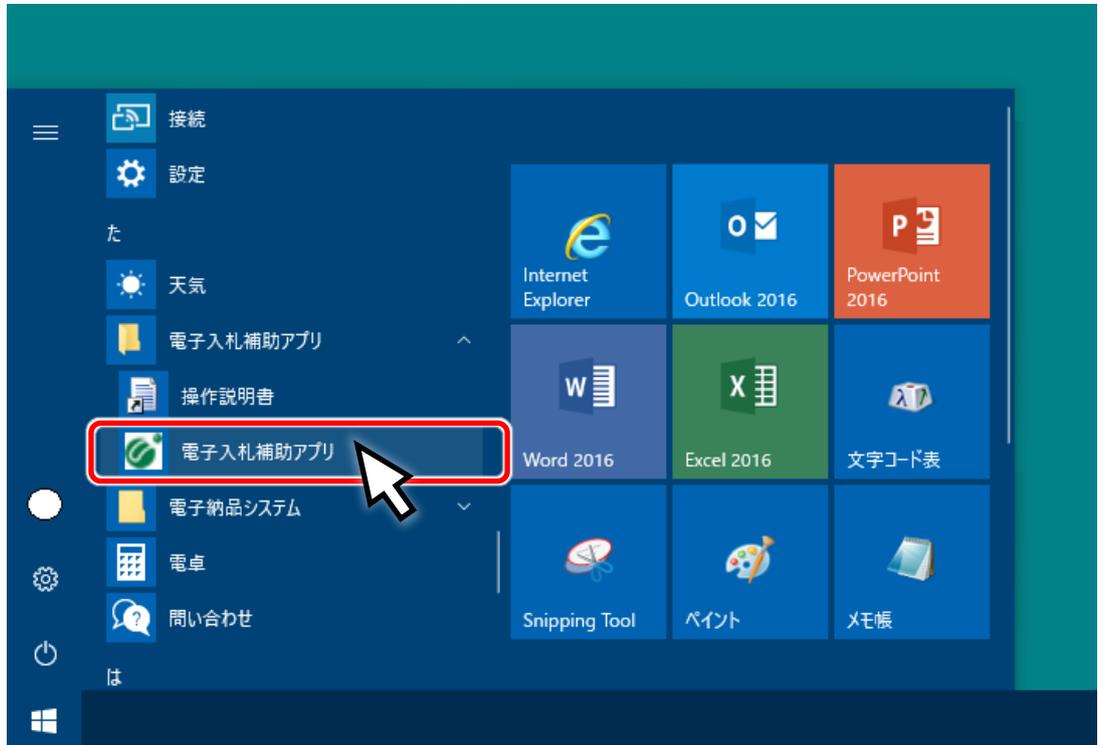
- (9) インストールが完了しましたら、「閉じる(C)」ボタンをクリックして終了します。



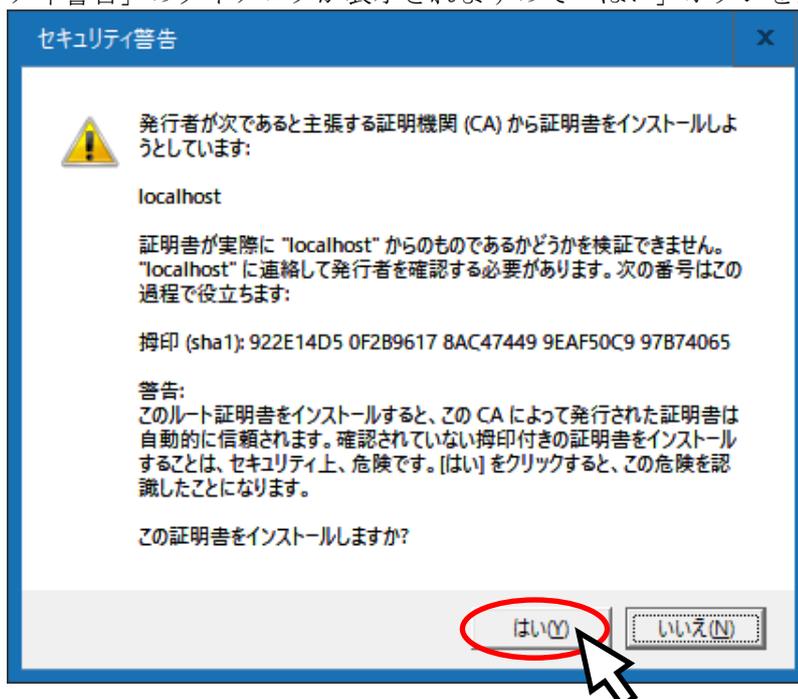
4.2. 電子入札補助アプリの起動方法

電子入札補助アプリを起動する方法を示します。

- (1) 電子入札補助アプリをインストールした直後に起動したい場合など、手動で起動するにはスタートメニューから起動します。

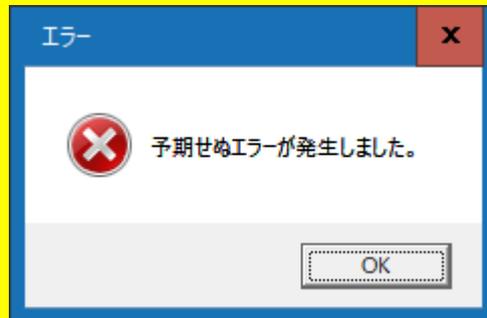


- (2) お使いの PC で初めて電子入札補助アプリを起動したときは、以下のような「セキュリティ警告」のダイアログが表示されますので「はい」ボタンを押してください。

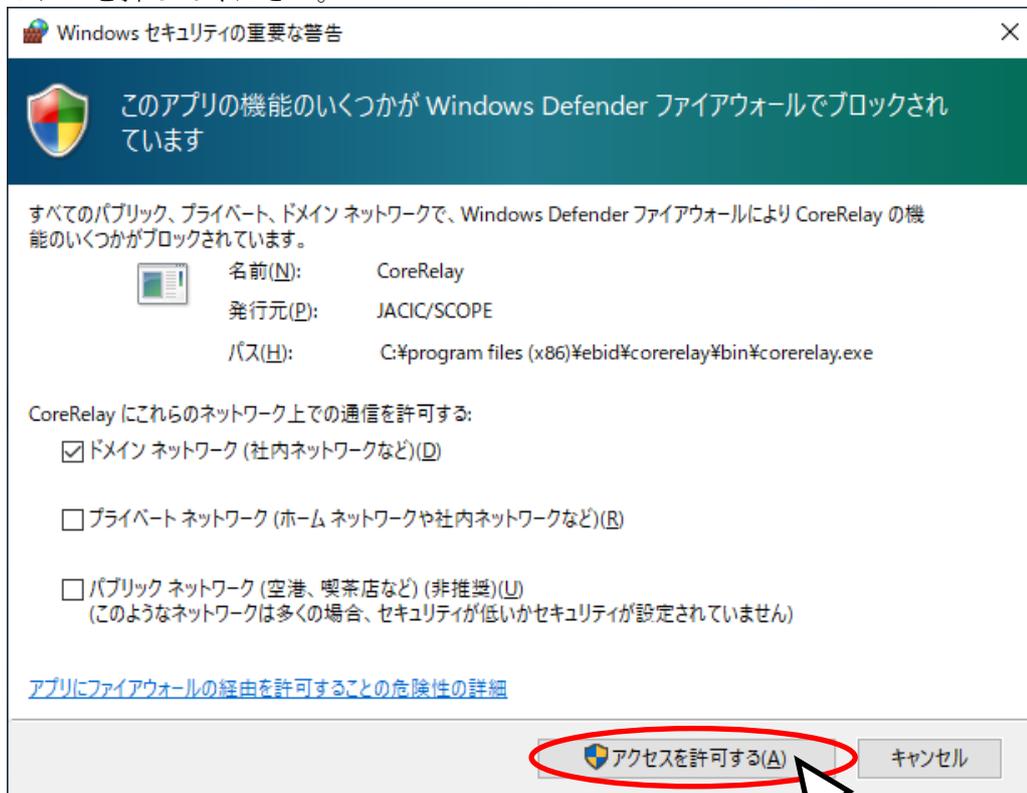


■セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」ボタンを押した場合

以下のようなエラーとなりますが、その場合は再度、電子入札補助アプリを起動してください。



- (3) お使いのPCで初めて電子入札補助アプリを起動したときは、以下のような「Windows セキュリティの重要な警告」のダイアログが表示されますので「 アクセスを許可する」ボタンを押してください。



- (4) 起動するとタスクトレイに常駐します。



- (5) PCを再起動した時には、自動的にタスクトレイに常駐します。



4.3. 電子入札補助アプリのバージョン確認方法

インストールされている電子入札補助アプリのバージョン確認方法を示します。

- (1) タスクトレイの**電子入札補助アプリ**のアイコン  の上で**右クリック**  して、電子入札補助アプリのメニュー（下記）を表示させます。

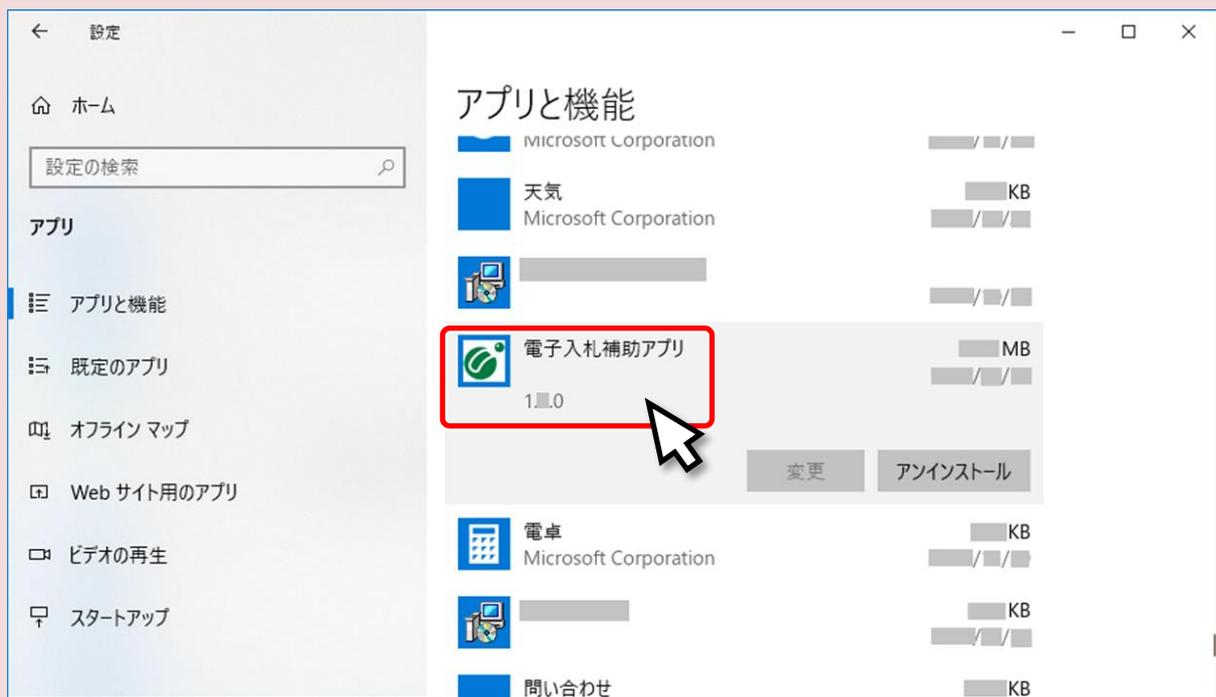


- (2) メニューの「バージョン情報表示」をクリックすると、電子入札補助アプリのバージョン情報ダイアログが表示されます。（「X」ボタンで閉じます）



【豆知識】

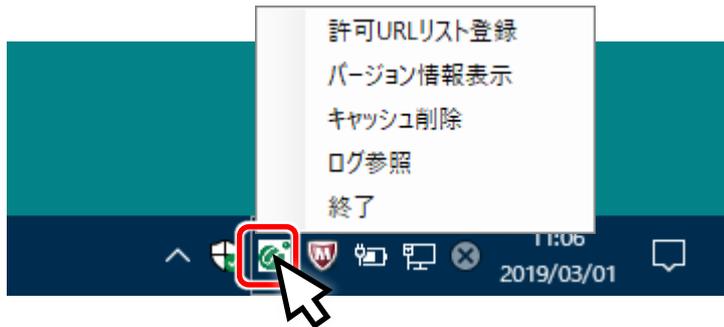
「コントロールパネル」の「プログラムと機能」や、「設定」の「アプリと機能」からもインストールされているバージョンを確認することができます。



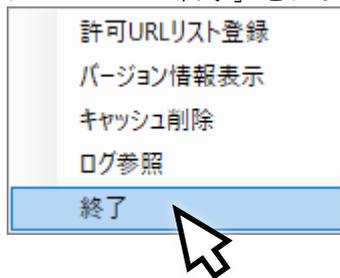
4.4. 電子入札補助アプリの終了方法

実行している電子入札補助アプリを終了させる方法を示します。

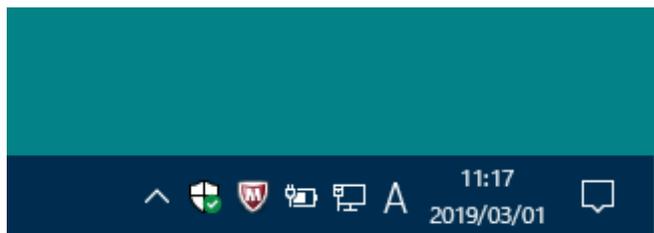
- (1) タスクトレイの**電子入札補助アプリ**のアイコン  の上で**右クリック**  して、電子入札補助アプリのメニュー（下記）を表示させます。



- (2) メニューの「終了」をクリックすると、電子入札補助アプリが終了します。



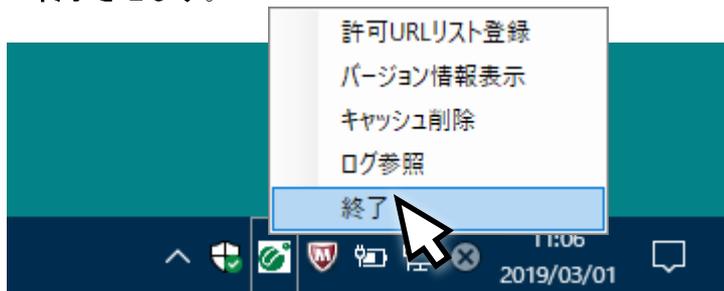
- (3) タスクトレイから、電子入札補助アプリのアイコン  が無くなります。



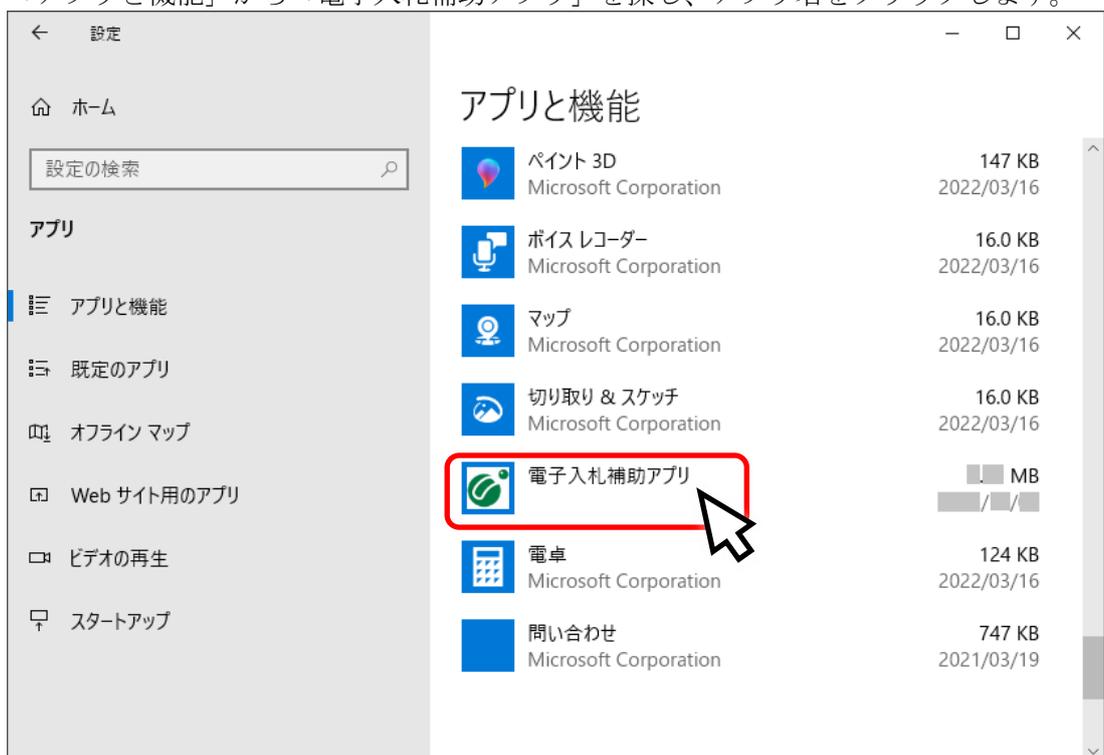
5. アンインストール

5.1. 電子入札補助アプリのアンインストール

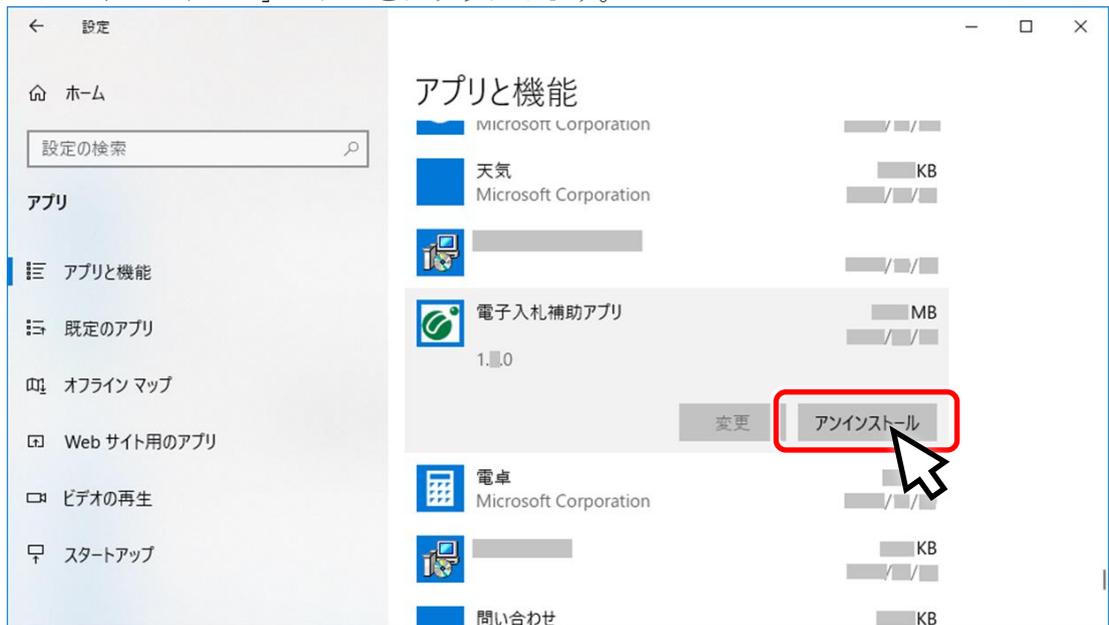
- (1) **重要** 事前に**電子入札補助アプリ**を「4.4. 電子入札補助アプリの終了方法」に従い**終了**させます。



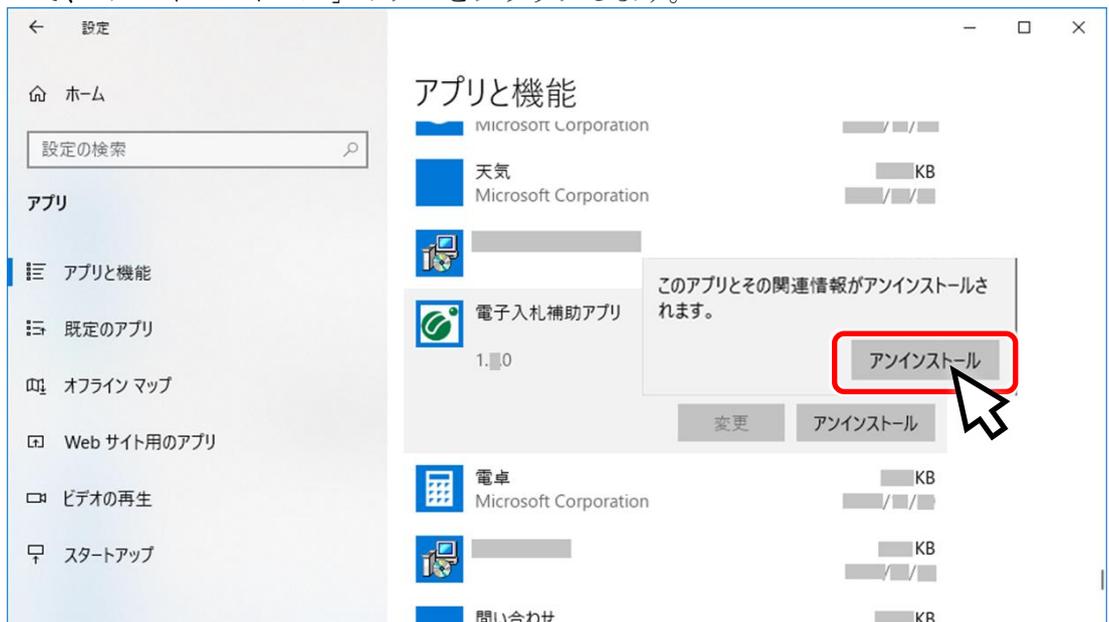
- (2) 「アプリと機能」から「電子入札補助アプリ」を探し、アプリ名をクリックします。



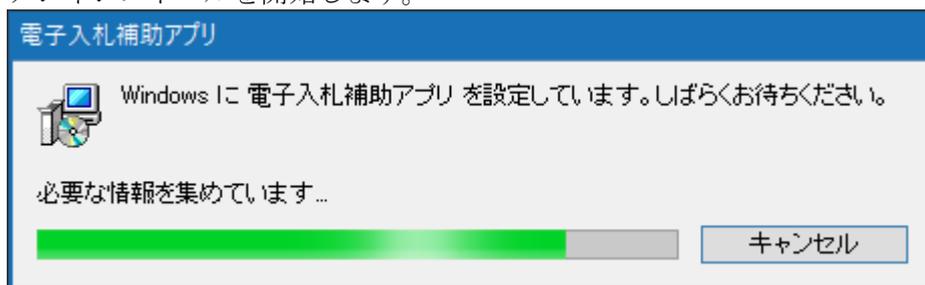
- (3) 「アンインストール」ボタンをクリックします。



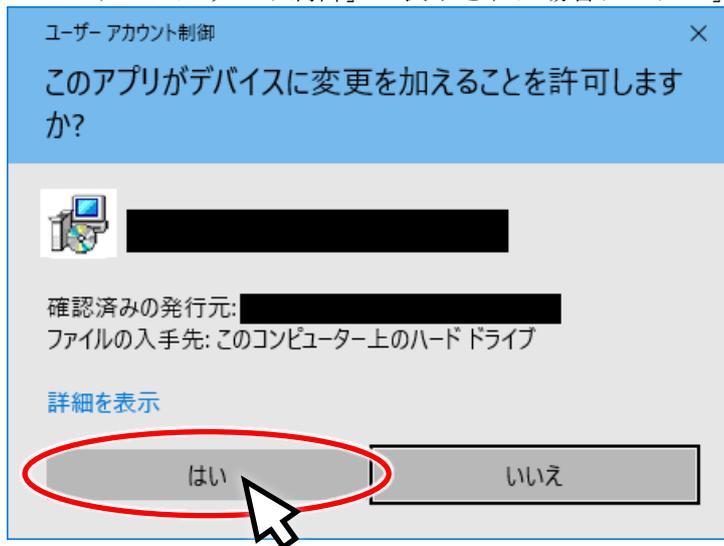
- (4) 確認のため「このアプリとその関連情報がアンインストールされます」が表示されますので、「アンインストール」ボタンをクリックします。



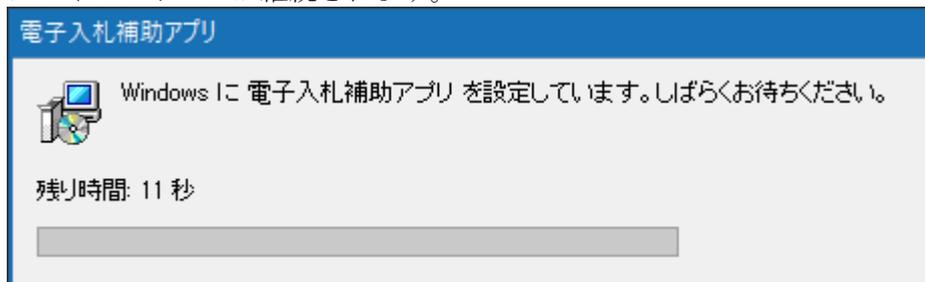
- (5) アンインストールを開始します。



- (6) 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

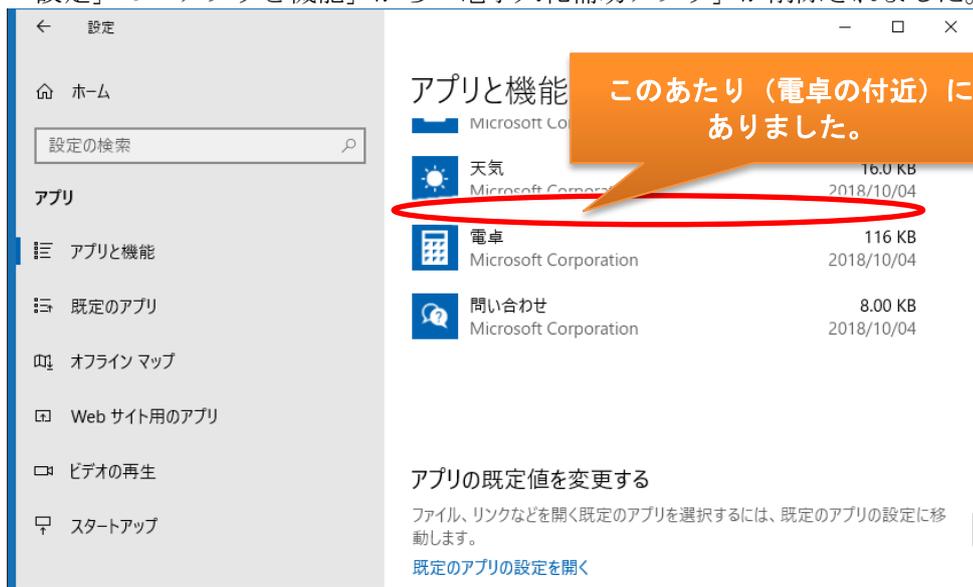


- (7) アンインストールが継続されます。

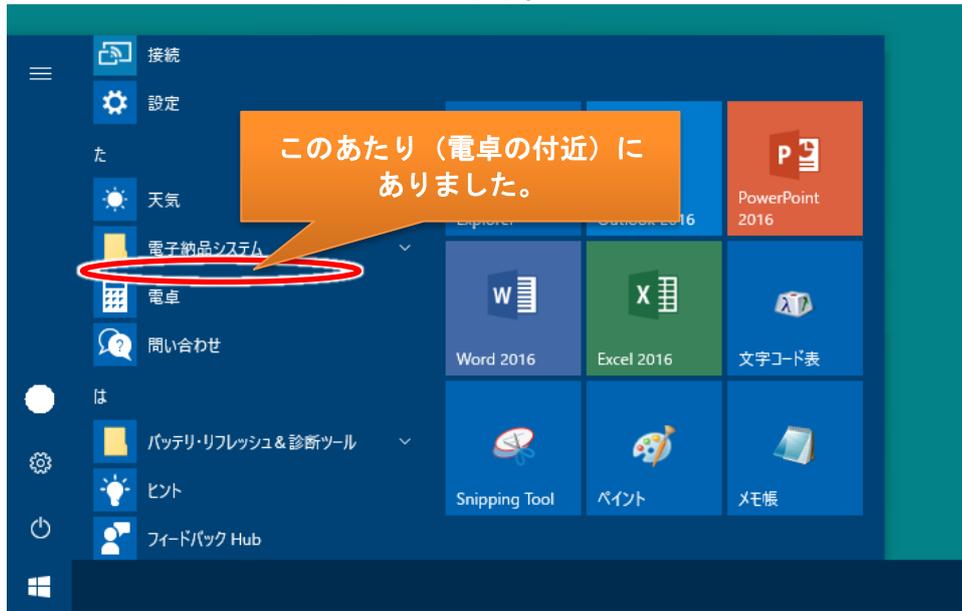


- (8) アンインストールが終了すると、ウインドウが自動的に閉じます。

- (9) 「設定」の「アプリと機能」から「電子入札補助アプリ」が削除されました。



(10) スタートメニューからも削除されます。



6. バージョンアップ

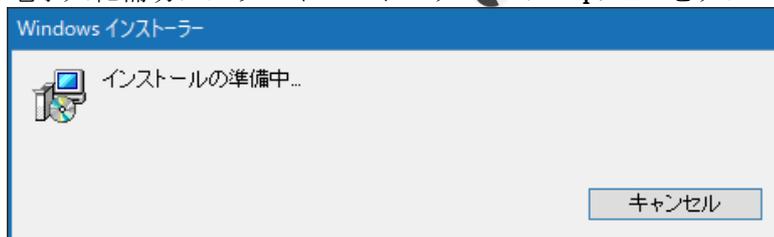
6.1. 電子入札補助アプリのバージョンアップ

以下の手順に従い、電子入札補助アプリのバージョンアップを行ってください。

【注意事項】 Administrator 権限のあるユーザでログインし、作業してください。

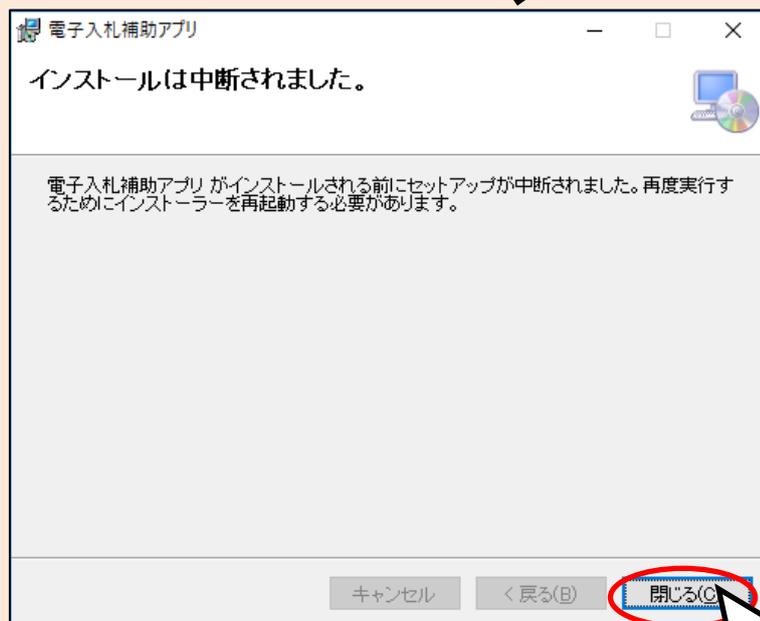
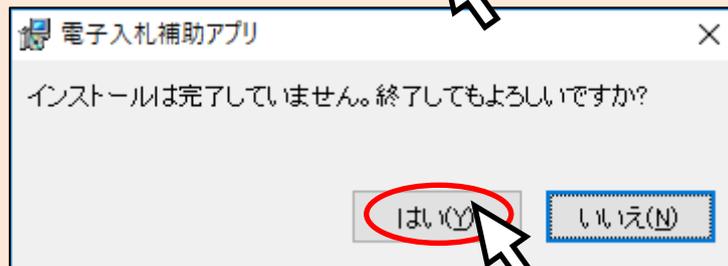
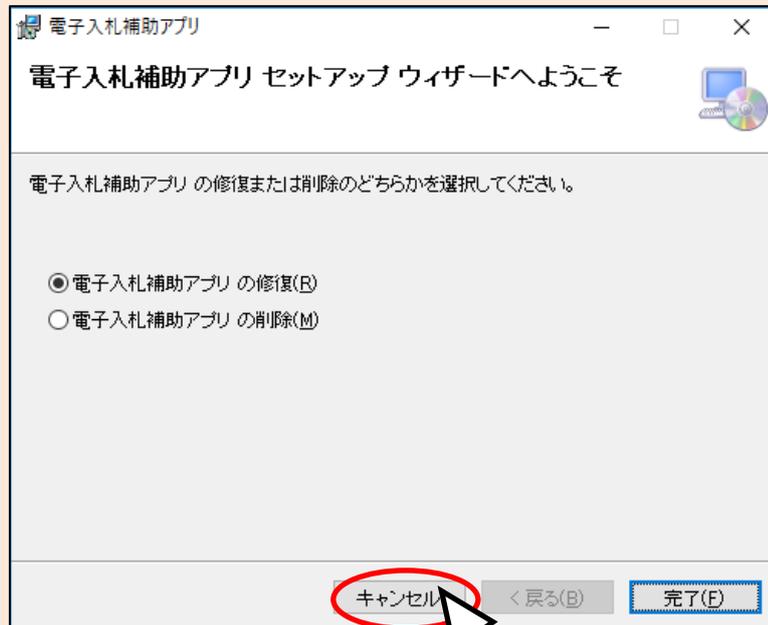
※Administrator 権限が無い場合、インストール途中のユーザーアカウント制御のダイアログで Administrator 権限のあるユーザの情報を入力する必要があります。

- (1) Windows のタスクトレイを確認し、電子入札補助アプリが起動している場合は、「4.4. 電子入札補助アプリの終了方法」を参考に、電子入札補助アプリを終了してください。
- (2) その他の起動しているソフトウェアを可能な限り終了してください。
(終了方法はそれぞれのソフトウェアのマニュアルを参照してください。)
- (3) 電子入札補助アプリのインストーラ  **setup.exe** をダブルクリックしてください。

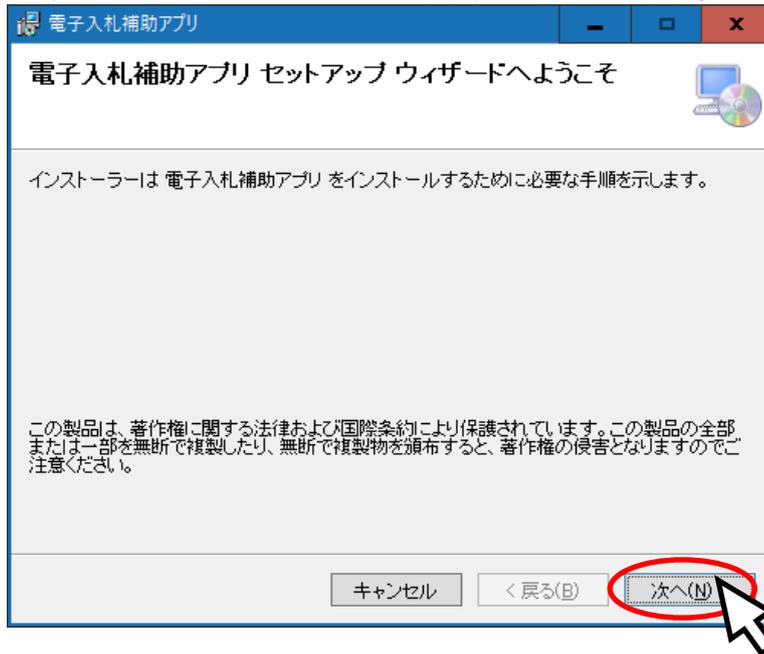


■補助アプリをバージョンアップ済みのPCでインストーラを起動した場合

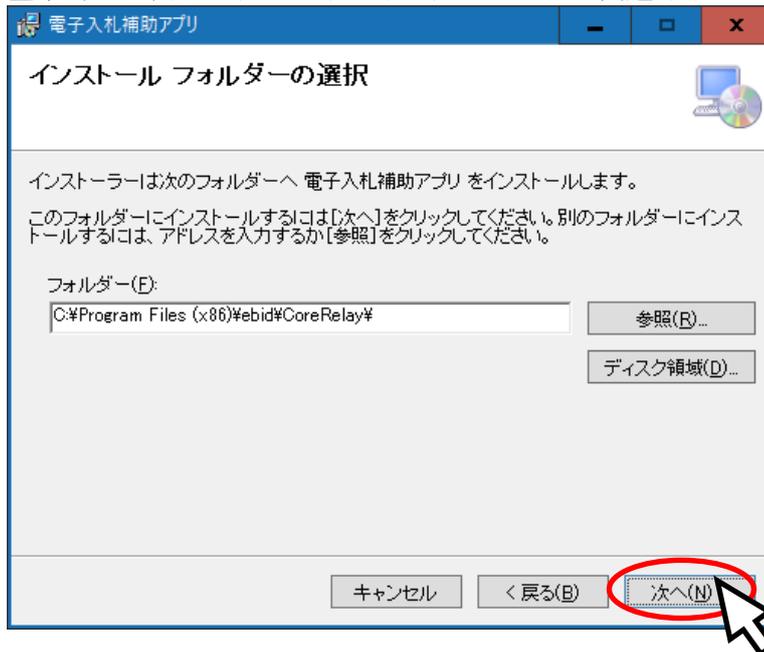
以下の画面が表示されますので、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してください。



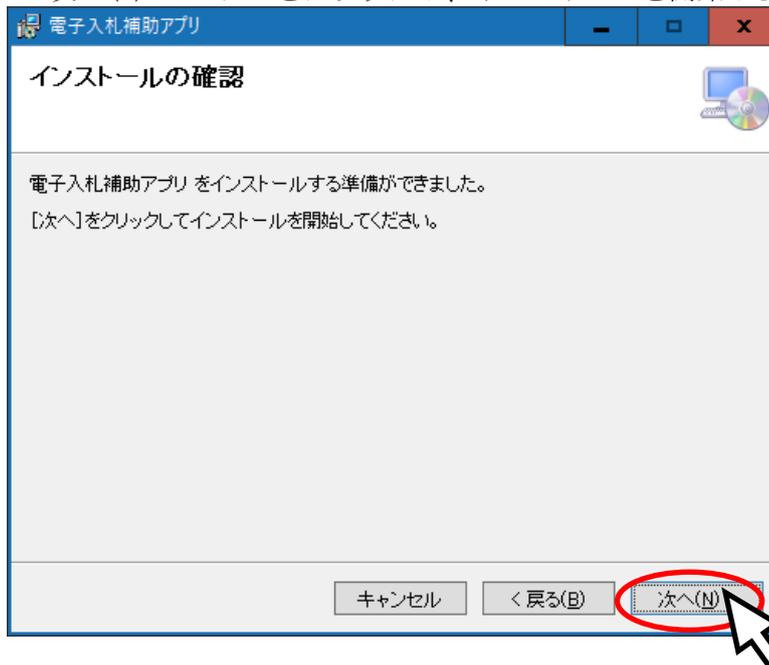
- (4) “次へ(N)” ボタンをクリックし、次画面に進みます。



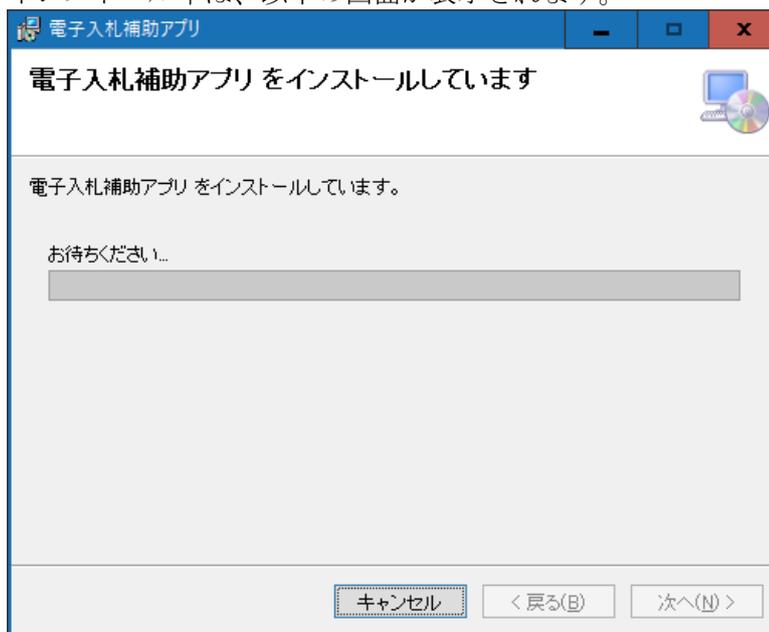
- (5) 電子入札補助アプリをインストールするフォルダーを指定します。基本的には表示されているフォルダーのまま問題ありません。



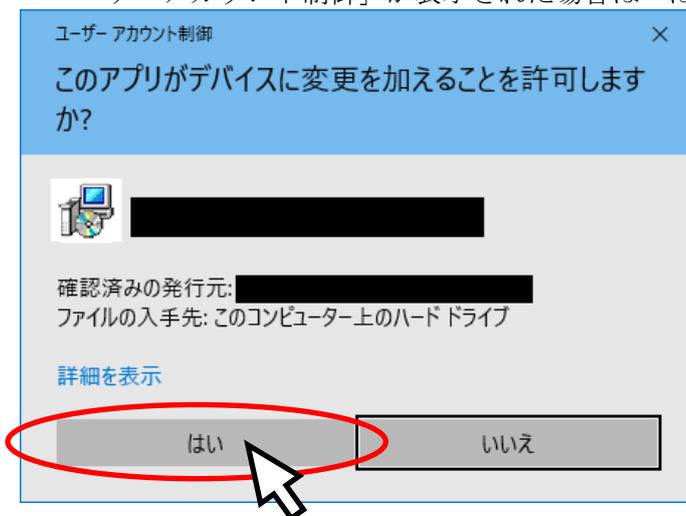
- (6) “次へ(N)” ボタンをクリックし、インストールを開始します。



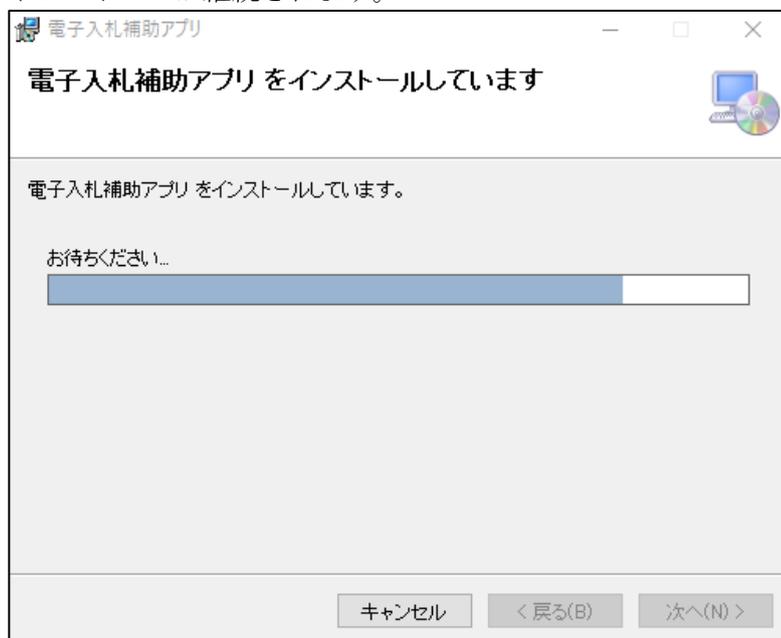
- (7) インストール中は、以下の画面が表示されます。



- (8) 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

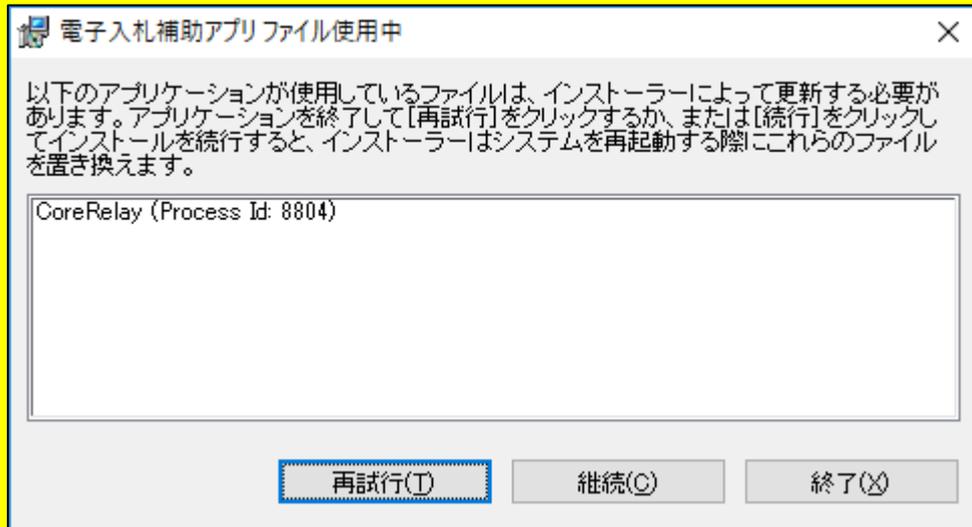


- (9) インストールが継続されます。

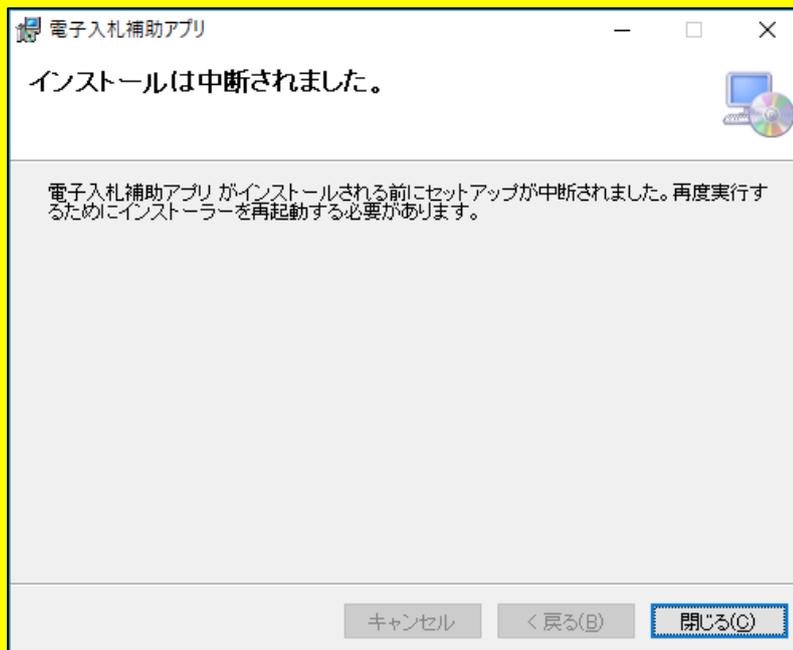


■補助アプリを終了せずに新しいバージョンのインストーラを起動していた場合

- (1) このタイミングで以下のダイアログが表示されますので、電子入札補助アプリを終了してから「再試行」ボタンをクリックしてください。
ここで電子入札補助アプリを終了せずに「継続」をクリックした場合、インストール作業は継続されますが、インストールが完了した後に PC を再起動する必要があります。

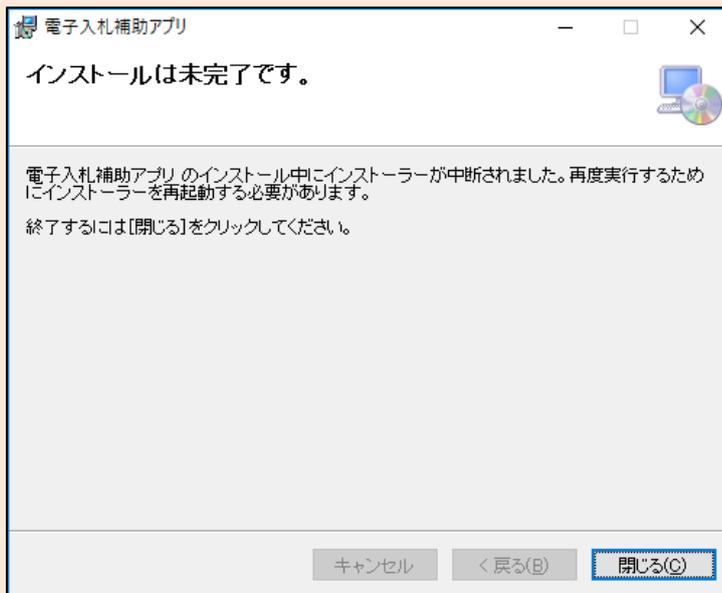
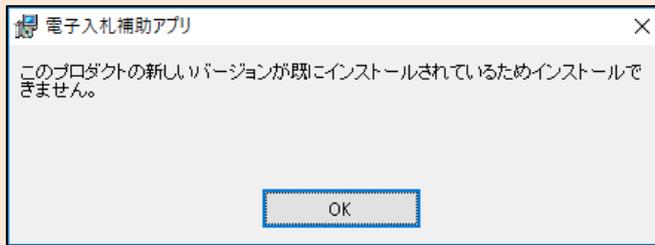


- (2) 上記(1)で「終了」をクリックすると、以下のメッセージが表示されてインストールが中断します。この場合は、電子入札補助アプリを終了してから、再度インストーラを起動してください。

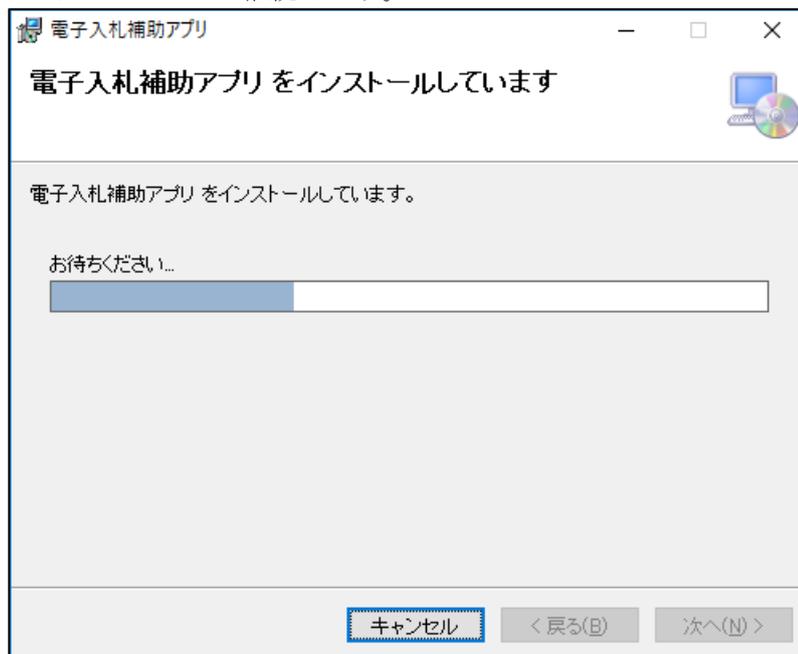


■補助アプリをバージョンアップ済みのPCで、古いインストーラを起動していた場合

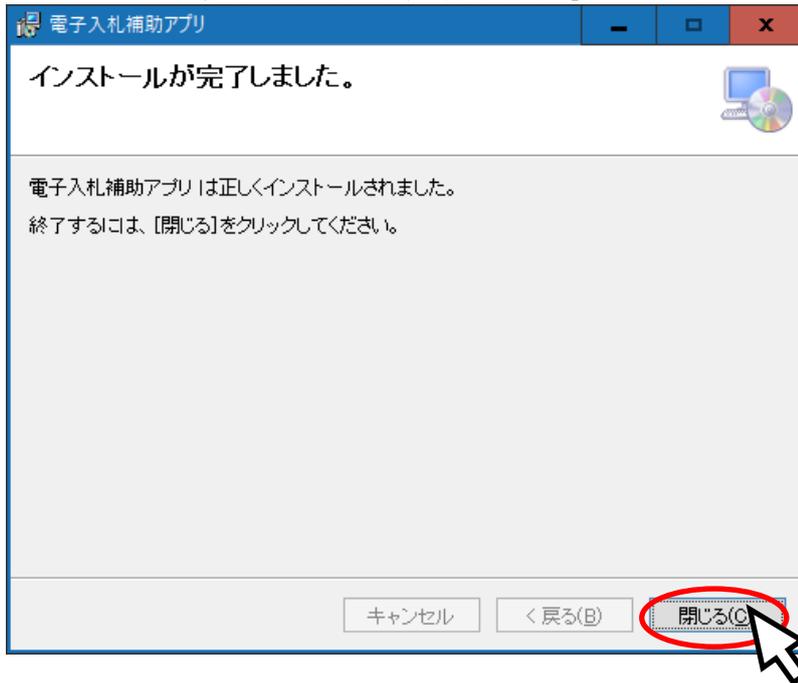
このタイミングで以下のメッセージが表示されインストールが中断します（未完了と表示されます）が、新しいバージョンの電子入札補助アプリは、このままで問題なく使用できます。



(10) インストールが継続します。



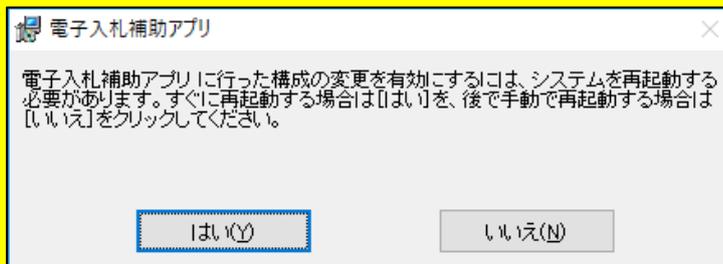
- (11) インストールが完了しましたら、「閉じる(C)」ボタンをクリックして終了します。



■補助アプリを終了せずに新しいバージョンのインストーラを起動していた場合

「電子入札補助アプリ ファイル使用中」のダイアログで「継続」をクリックしていた場合は、インストールが完了した後にPCを「再起動」するために以下のダイアログが表示されます。

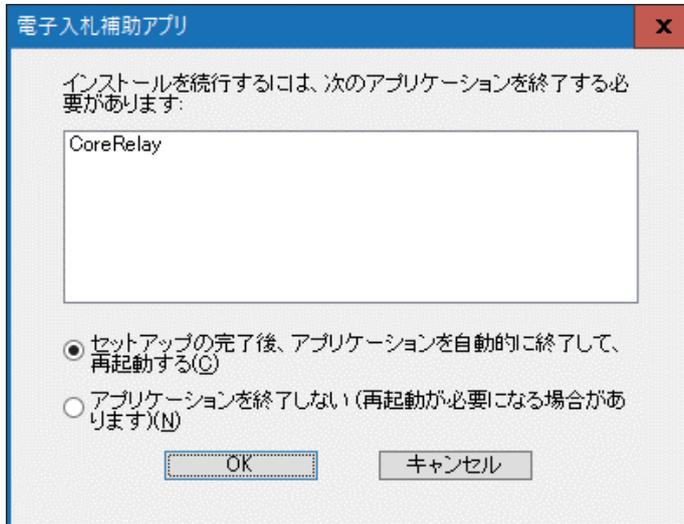
今すぐに再起動しても良い場合は「はい」を、あとで手動にて再起動する場合は「いいえ」をクリックしてください。



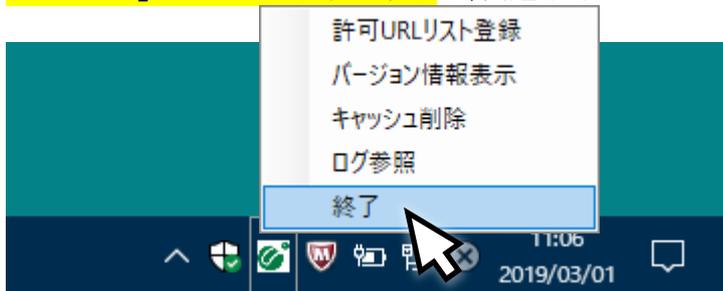
付録 1. FAQ

(1) 電子入札補助アプリを終了させずにアンインストールを実行してしまった場合

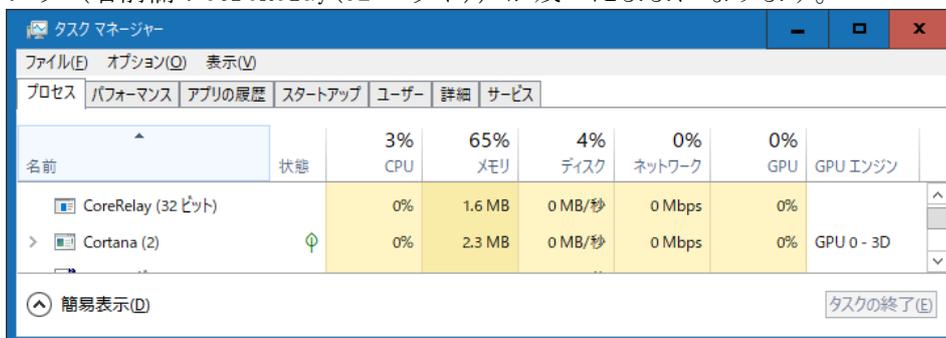
- ① 電子入札補助アプリを終了させずにアンインストールしようとする、以下のような「電子入札補助アプリ」というダイアログが表示されます。



- ② ここで「4.4. 電子入札補助アプリの終了方法」に従い電子入札補助アプリを**終了**してから「OK」ボタンをクリックすると、問題なくアンインストールすることができます。



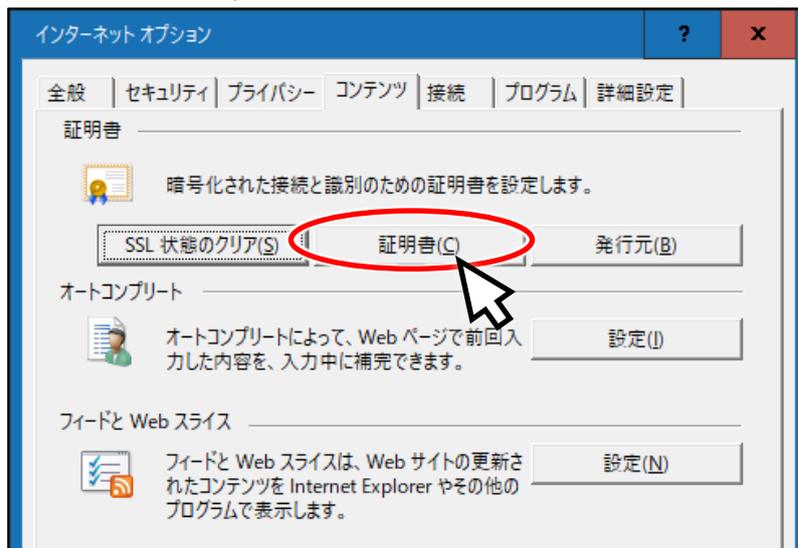
- ③ 上記の「電子入札補助アプリ」ダイアログで(ラジオボタンはどちらを選択しても)「OK」ボタンをクリックするとアンインストールは行われ、タスクトレイやスタートメニューからは削除されますが、タスクマネージャー(画像イメージ参照)には電子入札補助アプリ(名前欄: CoreRelay(32ビット))が残ったままになります。



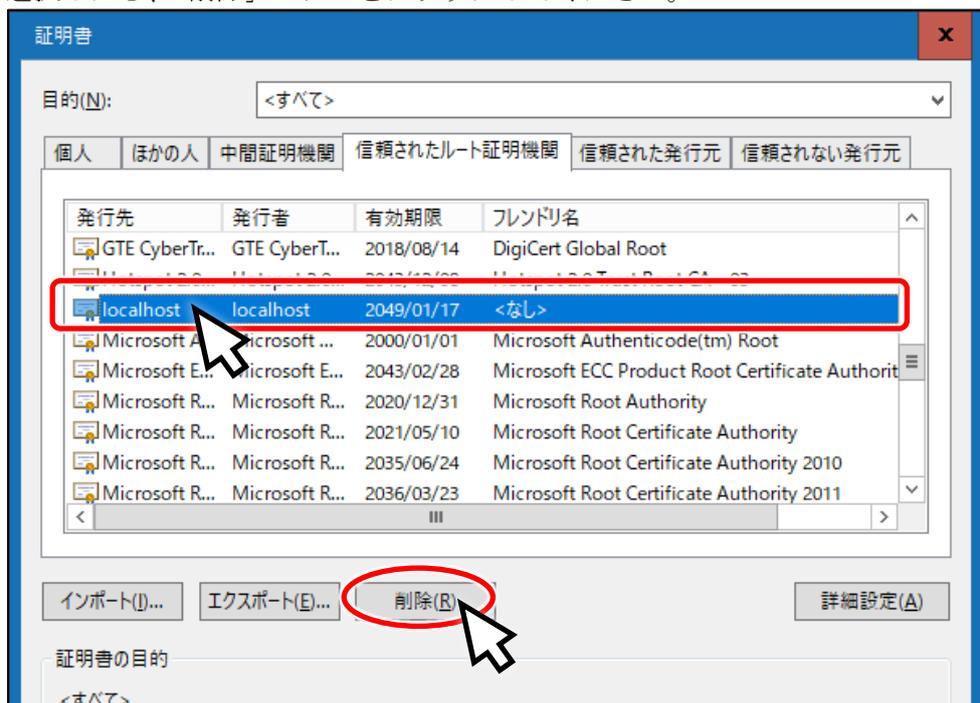
- ④ この場合は、**PCを再起動**することで、電子入札補助アプリをタスクマネージャーからも消すことができます。

(2) 起動時に「次の証明書をルートストアから削除しますか？」が表示された場合

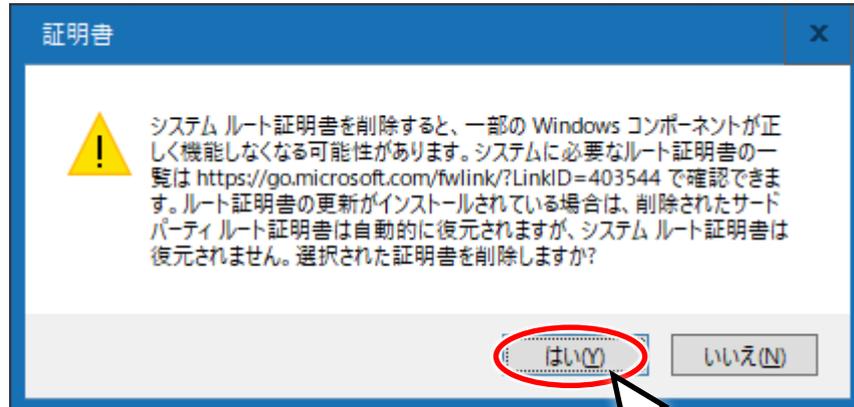
- ① **重要** 必ず「はい」を押してください。
「いいえ」を押してしまうと電子入札補助アプリが起動できなくなります。
- ② もし「いいえ」を押してしまった場合は、以下の操作を行ってください。
- A) インターネットエクスプローラーの「ツール」にある「インターネットオプション」をクリックして表示される画面の「コンテンツ」タブを表示し、「証明書」ボタンを押してください。



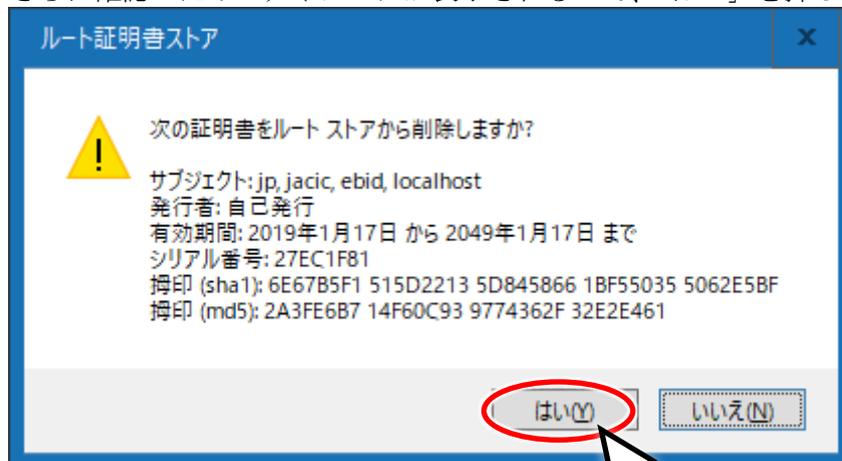
- B) 「信頼されたルート証明機関」から“localhost”を探し、その行をクリックして選択したら、「削除」ボタンをクリックしてください。



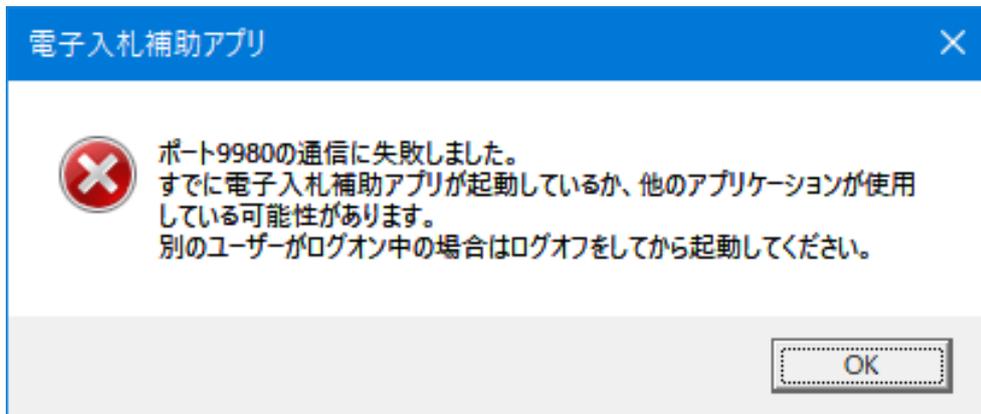
- C) 以下のような確認ダイアログが表示されるので、「はい」を押してください。



- D) さらに確認のためのダイアログが表示されるので、「はい」を押してください。



(3) 「ポート 9980 の通信に失敗しました。」が表示された場合



このダイアログは、以下のエラーが発生した場合に表示されます。

- すでに電子入札補助アプリが起動中（ポート番号 9980 を利用中）のとき
- 他のアプリがポート番号 9980 を利用しているとき
- ネットワークのエラーが発生したとき

【対処方法】

- ① すでに電子入札補助アプリが起動していないか、タスクトレイを確認してください。
- ② 起動していない場合、しばらく待ってから電子入札補助アプリを起動してください。
- ③ それでもこのダイアログが表示される場合は、PCを再起動してみてください（電子入札補助アプリは自動的に起動します）。

付録 2. ソフトウェア動作環境について

電子入札補助アプリが動作するOS、ブラウザ、.NET Framework の対応は次の表のとおりです。

表 1 OS、ブラウザ、および .NET Framework の対応表

OS	Windows 10	Windows 11
	32bit 版 / 64bit 版	64bit 版
ブラウザ	Microsoft Edge (Chromium 版) Google Chrome	Microsoft Edge (Chromium 版) Google Chrome
.NET Framework	4.6.2 以降 (※)	4.8 以降

(※) 電子入札補助アプリは、.NET Framework 4.6.2 以降のバージョンで実行可能です。マイクロソフト社のサポート終了が見込まれるバージョンをお使いの場合には、システム部門等にご相談いただき、サポート中のバージョンへの更新をご検討ください。

- 電子入札補助アプリは、1 台の PC で 1 つしか実行できません。
[Ctrl]+[ALT]+[Del]などで「ユーザの切り替え」を行った場合、誰かひとりが電子入札補助アプリを起動していると、その他のユーザは電子入札補助アプリを起動できません。
- ソフトウェア動作環境は、外部要因により変更される場合があります。

付録 3. サイレントインストールについて

電子入札補助アプリのインストーラは、マイクロソフトが提供している msi 形式のインストーラを利用しています。

msi 形式のインストーラはサイレントインストールの機能を持っています。

(注意) サイレントインストールは msi ファイルを実行するため、setup.exe が自動的に行っている .NET Framework の自動インストールが行われません。このため、サイレントインストールを利用する際は、別途 .NET Framework のインストールが必要です。

msi インストーラのオプションの詳細は、Microsoft のドキュメントサイトを参照してください。

<参考> Standard Installer Command-Line Options

< <https://docs.microsoft.com/en-us/windows/desktop/msi/standard-installer-command-line-options> >

【サイレントインストールの例】

```
msiexec.exe /i CoreRelay.msi /passive
```

改版履歴

版	改版日	改版理由（箇所）
1.0	2019.11	新規作成
1.1	2021.03	次期ブラウザ対応版のリリースに伴う改版 <ul style="list-style-type: none"> ・「4.1. 電子入札補助アプリのインストール」に、新しいバージョンをインストールする場合の案内文を追加。 ・「4.3. 電子入札補助アプリのバージョン確認方法」のバージョン番号ダイアログを新バージョンに差し替え。 ・「6. バージョンアップ」を追加。 ・「付録1. FAQ」の「(3)「ポート 9980 の通信に失敗しました。」が表示された場合」のダイアログメッセージを変更。 ・「付録2. ソフトウェア動作環境について」の表1のブラウザに、Microsoft Edge (Chromium 版)および Google Chrome を追加。
1.1.1	2022.1	.NET Framework サポート終了時（4.6.1 が 2022 年 4 月 26 日にサポート終了することを受けて）の考慮を追記（プログラム修正なし。本ドキュメントのみ更新） <ul style="list-style-type: none"> ・「3.3 注意事項」に、.NET Framework のバージョンに関する注意事項を追加。 ・「4.1. 電子入札補助アプリのインストール」「(2)」及び「(3)」に .NET Framework のバージョンに関する注意事項を追加。 ・「付録2. ソフトウェア動作環境について」表1の .NET Framework に、バージョンに関する注意事項を追加。Windows11 に関する情報を追加。
1.2	2022.10	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境の .NET Framework の必要バージョンを 4.6.2 に変更。 ・電子入札補助アプリとともにインストールされる OSS モジュール（Open Souce Software）の一部を現時点の最新版に差し替えたことに伴い、電子入札補助アプリのバージョンを 1.2.0 に変更。
1.3	2023.2	<ul style="list-style-type: none"> ・電子入札補助アプリのコマンド Utils.showLocalDocument の廃止に伴いバージョン番号を変更。 ・マイクロソフトによる Windows 8.1 のサポート終了に伴い「付録2. ソフトウェア動作環境について」から Windows 8.1 を削除。
1.4	2023.11	<ul style="list-style-type: none"> ・電子入札補助アプリのセキュリティ対応に伴いバージョン番号を変更。

本製品は原則日本国内でのみご使用ください。本製品は外国為替及び外国貿易管理法で規制される貨物・技術に該当します。本製品を輸出（日本国外への持ち出し及び非居住者へ技術を提供する場合も含む）する場合は、同法に従い日本政府の輸出許可または役務取引許可が必要です。米国等国外へ持ち出し、持ち帰る場合は当該国の法律に基づき許可が必要な場合があります。